

法人の賀芳

春
2017

No. 202

発行所／一般社団法人 真岡法人会
栃木県真岡市荒町 2055 番地

発行人／石坂 博
☎ (0285) 83-3477
編集人／石田 順一

法人会
消費税期限内納付
推進運動



記念樹の森公園

市貝町の中央部を通る真岡鐵道、市塙駅のすぐ東側に位置する、小高い山根城跡地の二画にある記念樹の森公園。ここには、植樹者を募った様々な記念すべき思いが込められた桜の木（ソメイヨシノ）他、が百五十七本程あり、四月上旬には満開を迎えます。沿道に咲き誇る桜並木の鮮やかさは、また違った趣で、その場に居る人の心を和ませてくれる空間が有ります。時折、小鳥のさえずりを耳にしながらかつた頂上には、山根城跡の石碑と、木造の休憩小屋、そして解放感満載の展望台があり、思わず最上階まで上がりたくなる心境に駆られます。

閑静な自然に囲まれたこの時期この場所で、遠くからSLの奏でる音が聞こえて来れば、そこにはより、ゆつたりとした時の流れを感じ、穏やかな気持ちになります。

新春講演会

おのみねまゆ

元宝塚の大峯麻友さんリーダー論語る

去る2月9日(金)、法人会新春恒例の「講演会」をフォーシーズン静風で開催しました。広報活動の効果もあり参加者は会員や、一般の他、地区外からの参加者もあり、出席者は100名を超え、その内6割が女性で占めました。

講師には、大正時代から今日まで人気を集めている「宝塚歌劇団」の宙組(そらぐみ)初代組長を務めた「大峯麻友さん」をお迎えしました。宝塚と言えば、上下関係が厳しい



ことで有名ですが、先輩が「カラスは白い」と言ったら、後輩も「カラスは白い」と答えなくてはならない。そんな世界であったそうです。

大峯さんは、宝塚時代から学んだ「リーダーシップとチームワーク」と題して話され、上下関係のコミュニケーションを高めるには「相手の立場になって考える気遣いの大切さ」や「部下の仕事を見届け、声をかけることで信頼関係が構築される」と、上の立場に立つ者の心構えを強調しました。

講話は、スクリーンを使いながら90分にも及びましたが、その間、大峯さんの乱れぬ見事な立ち姿の美しさに感銘いたしました。

講演の最後には、宝塚歌劇団を象徴する歌「すみれの花咲く頃」が会場の隅々まで響き渡り、しばしうつりと幸せな時間が流れました。

法人会女性部会

新春研修会開く

女性部会恒例の「新春研修会」は、去る1月27日(金)午前11時からフォーシーズン静風で開催し、会員来賓合わせて63名が出席しました。

研修会は、「くらしを支える税」消費税あれこれ」をテーマに、真岡税務署長の三瓶伸一様からご講話をいただきました。

国民の最も身近な税の一つである消費税。導入から早30年が経とうとしています。導入額は今や17兆円超にも上り、所得税に次ぐ歳入の基



(講話する三瓶税務署長)

一般社団法人真岡法人会

第5回通常総会のお知らせ

【日 時】平成29年6月13日(水) 午後4時

【場 所】フォーシーズン静風「静風の間」

※5月中に会員の皆様にご案内状を送付いたします。
出欠のご回報と欠席をされる場合、委任状のご提出をお願いいたします。

幹税となっています。今回の研修では、平成元年4月から消費税が導入された背景や、我が国の消費税の特徴、税の正しい使い道など、消費税の在り方について詳細にご説明をいただきました。また、税率引き上げ時期の延期問題、更には今後の取り組みと課題等について、三瓶署長自らが作成したレジュメを基に要点を説明され、改めて消費税の重要性を再認識した次第です。

研修会終了後は、別室において新年会を開催。輝かしい年の門出を祝うとともに女性部会の益々の発展と会員企業の隆盛を願い、和やかに歓談いたしました。

「税に関する絵はがきコンクール」 法人会長賞は入江麗奈さん (真岡東小)

女性部会主催の第5回「税に関する絵はがきコンクール」の審査が1月27日に行われ、応募総数219点の中から優秀作品45点を選考・表彰しました。

今回の応募作品は、昨年、女性部会が「租税教室」を担当した真岡小学校、真岡東小学校、赤羽小学校の



(法人会長賞) 入江さんの作品



(女性部会長賞) 森山さんの作品

6年生児童の皆さんから出品をいただきました。作品は2月13日から10日間、学校近くの大型商業施設2ヶ所に展示し、また、法人会長賞はじめ上位の優秀作品17点については確定申告時期に合わせ、真岡税務署の申告相談コーナーに展示しました。なお、優秀作品17点は次の方々です。

【法人会長賞】入江麗奈 (真岡東小)

【女性部会長賞】森山さくら (真岡小)

【税務署長賞】加藤姫奈 (真岡東小)

【金賞】飯野雅翔 (赤羽小)

関カミラ (真岡小)

山本藍奈 (真岡東小)

【銀賞】仁平歩美 (真岡小)

堀本 葵 (真岡東小)

大木正次 (真岡東小)

桜井亜伊 (赤羽小)

野村心結 (赤羽小)



(税務署長賞) 加藤さんの作品

【銅賞】泉 星地 (真岡小)

館野紗奈 (真岡小)

小川歩華 (真岡東小)

川上 諄 (赤羽小)

佐藤慶己 (赤羽小)

鈴木柊太 (赤羽小)

(敬称略)

青年部合同フォーラム

青年部会長 秋山康雄

平成29年3月26日真岡青年会議所と合同で、子育てフォーラムを開催しました。

第一部の講師にはコラムニストのミセスパンキン氏を迎え「子どもたちの幸せのために私たちにできること・20年後感謝される育て方」という題目でした。

ミセスパンキン氏は東洋経済オンラインでの人気掲載コラム「ミセスパンキンの人生相談室」で膨大な数の育児相談をこなし、さまざまな家庭の問題について洞察溢れるアドバイスを提供しています。また、2016年に発刊した「一流の育て方」はAmazonカテゴリーベストセラー1位となり、6ヶ月で20万部を突破しています。

一般的な家庭でありながら、4人の子どもたちがそれぞれ、プレイベートエキイティ・プロフェッショ



ナル、ニューヨーク州弁護士やロンドン勤務の公認会計士、カナダの大学教員などグローバルに活躍するプロフェッショナルに育てた、ミセスパンキン氏のお話は非常に説得力のあるものでした。

続く第二部ではミセスパンキン氏に加え、真岡市教育長田上富男氏、英語塾経営のクエートオ玲子氏、長田小学校PTA会長の佐藤進氏の4名でのパネルディスカッションが行われました。様々な立場から意見が発表され大変子育ての参考になるものが多かったと思います。

青年部の事業として、これからも有益な事業を企画したいと思います。

女性部会研修旅行

「梅香る季節、東京を愉しむ」

朝晩の厳しい寒さが残る二月二十八日(火)、女性部会恒例の日帰り研修旅行は、6支部会員・事務局を含め三十六名が参加し、迎賓館赤坂離宮、築地場外市場、すみだ北斎美術館へ行きました。

バスはひどい渋滞もなく順調に進み、まずは「すみだ北斎美術館」を訪れました。シルバーの特徴的な建物です。全員で見学した常設展示室は黒で統一されていて足元の青い光は隅田川を表しているとの事で、落ち着いた雰囲気でした。作品は時代順に展示され、解説は違った角度からも楽しめる工夫がありました。常

設展示室を後にし、それぞれ館内を見て回りました。

次に「すしざんまい本陣」にて、おいしいお寿司をいただき、築地場外市場の買い物散策を楽しみました。

そして「迎賓館赤坂離宮」へ向かいました。西門から入場し、受付で一人ひとりを参観名簿にて確認と飛行機搭乗時のような厳重な手荷物検査があり、いよいよ見学開始です。まずは建物内へ進みました。どの部屋も豪華な内装と調度品は見事で、随所に洋の中にも和が織り込まれ細部まで素晴らしく、感銘を受けました。建物は外観も立派で、天気

がいいのも相まってより美しく感じられました。前庭は雑草一つなく松もきっちり剪定され整然としており、正門から臨むと奥に見える建物との風景も良いです。最後に正門を下から見上げた時、空の青さが門をより美しく引き立てていて素敵でした。

北斎、築地、そして迎賓館、和と洋を堪能でき、実りある研修旅行でした。

法人会のゴルフ大会

優勝は野沢巧さん(二宮支部)

法人会の新規事業である会員親睦ゴルフ大会は、去る2月24日(金)真岡市三谷のゴールデンレイクスCに6支部から28名が参加し、日頃



の腕を競いました。大会はそもそも11月24日開催の予定でしたが、想定外の降雪に見舞われ仕方なく2月に順延。寒空の下での大会でしたが参加者は顔見知りも多く和気あいあい。結果は、予想通り優勝は二宮支部の野沢巧さんに輝き、グロスも74と他を圧倒しました。表彰式はさくらの「松喜」で行い、宴が遅くまで続いたことは言うまでもありません。今年は芳賀支部が幹事で開催します。皆さん、是非ご参加下さい。成績は次の通りです。

【ネットの部】

優勝 野沢 巧(二宮) 70.4

準優勝 清水 益栄(益子) 70.6

3位 町井一比古(茂木) 72.2

【グロスの部】

①野沢巧(二宮) 74 ②関春一(茂木)

84 ③三澤幸光(真岡) 87

【ドラコン賞】町井一比古 竹石哲也

【ニアピン賞】磯稻造 関春一

(敬称略)

女性フォーラム

鹿児島大会に参加して

女性部会長 田尻和子

第12回法人会全国女性フォーラム鹿児島大会が、去る4月7日(金)鹿児島市の「城山観光ホテル」で開催され、全国の女性部会員など1625名が参加し、当女性部会から、田尻部会長と二宮支部の柴部長が参加しました。

鹿児島は、幕末において大陸や西欧から新しい文明が伝わり、この地から日本全国に広がり、政治社会の大変革となり、日本の近代国家が形成されました。来年は、「明治維新150年」となります。

大会のキャッチフレーズは「輝け女性! その風は南から」で、この大会を機に、女性の活躍こそが、将来の日本を支える子供達の育成と今後の経済成長の原動力になり、女性の



輝く時代を切り拓こう、ここ鹿児島
の地から発信しようという思いが込
められた大会でした。

大会は、第一部式典、第二部記念
講演、第三部懇親会の構成で行われ
記念講演は、(株) 国際協力銀行の
林信光氏(元国税庁長官)が「明日
の社会と税金を語る」霞が関からワ
シントンまで」という演題でお話
しされ、大蔵省入省から総理秘書官
を務めた際のエピソードや現在内閣
が長期政権であることの世界的なメ
リットなど興味深いものでした。

懇親会は、県内女性部の方々だけ
ではなく、他地域の女性部の方々と
も交流を深め、また、活動の見直し
の場ともなりました。

♪

「さーて、今日も笑顔で頑張ろう
ます。」

今日も笑顔でお客様の期待に応え
ます。

『職場の花』

笑顔と真剣さ、そして、本当にい
いお家を造りたいという熱い気持ち
でお客様に接する片山さんはまさに
『職場の花』

そんな気持ちに込める為、施主様
と共に考え、意見を聞き、様々なご
提案をし、お互いが本当に納得でき
るお家を目指します。

施主様の「好き」を形にしています。
ほとんどの方が一生に一度のお家
造り。皆さま失敗はしたくないです
し、妥協もしたくありません。



K-LIVING
片山さおりさん

職場の花



一般社団法人真岡法人会真岡支部
では、去る3月21日(火)午後5時
から「真岡商工会議所大会議室」に
て、井田真岡市長を迎え「市政の概
要について」と題し、平成29年度の
真岡市の予算、事業計画、まちづく
りへの取り組み等の詳細について説
明を受けました。

内容としては、人口減少や少子高齢
化に的確に対応するため、雇用の創
出、移住定住の促進、結婚・妊娠・
出産・子育ての切れ目ない支援など、
一昨年の10月に策定した、真岡市の

真岡支部

市政懇談会開催

支部活動

見つけた！こんなお店探してた♥私の選んだ安心なお店。

good communication

大津庵呉服店

大津庵
フォトスタジオ

Produced by 大津庵呉服店

芳賀町延生地蔵尊前

〒321-3312 栃木県芳賀郡芳賀町大字下延生1687
TEL: 028-678-0540 FAX: 028-678-0708



セイフティ(安全性評価認定を受けている)バス
国土交通省等により安全確保の優秀な貸切バス事業者と認定
法令に基づいた運行料金

株式会社 タケダ商事

市貝町椎谷(しゅうがい) 239 ●運転手募集●
Tel 0285-68-4791 FAX 0285-68-4223 (営)9時~18時 不定休

「人口ビジョン」と「真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を展開するとともに、各種事務事業の行政評価を踏まえた効率的な行政運営を図っていくとありました。

市政懇談会終了後は、「けやき会館」にて、懇親会を開催し和やかな雰囲気の中、会員の親睦を深めました。

女性部も市政懇談会開く

真岡支部女性部では、2月22日（水）フォーシーズン静風において、井田真岡市長を迎え、女性部としては初めて「市政懇談会」を開催しました。

内容としては、平成29年度の真岡市の予算、事業計画、まちづくりへの取り組み等や真岡市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を展開するとともに、各種事務事業の行政評価を踏まえた効率的な行政運営を図っていくとの説明がありました。

新庁舎や真岡市東運動公園、芳賀赤十字病院について等、身近な話題も多く、参加した会員の方々は熱心に話を聞いていました。

市政懇談会終了後は、井田市長同席のもと食事を開催し和やかな雰囲気の中、会員の親睦を深めました。

二宮支部

新春講演会を開催

去る1月27日に、にのみや商工会と共催により新春講演会を開催いたしました。（株）日本レストランエントプライズ「駅弁マイスター」の三浦由紀江氏を講師に、「一年で駅弁売り上げを五千万円アップさせたカリスマ駅弁販売員が語る「奇跡のサービス」」と題し、買う気にさせる「五秒接客術」やスタッフの結束力が売り上げアップの鍵「スタッフのモチベーションの高め方」、「常識や習慣にとらわれない発想と行動が奇跡の販売額をたたき出す」など、究極の接客術の実績に基づいた講演となり大変好評でした。

また、今年も評判の良い当地域のPRを兼ねた二宮金次郎の教え「徳を



を以って徳に報いる」（物や人そのものにそなわっている「持ちまえ、取りえ、長所、美点、価値、恵み、おかげ」などを「徳」として、その「徳」をうまく使って社会に役立てていく（お返しをする）こと）と「にのみや金ちゃんの」キャラクターを入れ新春のタオルを製作配布いたしました。

益子支部

新春賀詞交歓会を開催

益子支部では恒例となりました新春賀詞交歓会を一月二十三日（月）にアプローズ益子にて開催しました。

篠原支部長と来賓としてお招きした石坂会長にご挨拶を頂いた後、今回の特別企画「新春の歌声」として「第三十二回日本大衆音楽祭」チャイルド部門最高賞を受賞した益子小学校六年生の谷畑妃音（やばた ひなり）さんに自慢の喉を披露して頂きました。妃音さんは小学生とは思えない程見事なパフォーマンスを見せ、伸びのある豊かな声量でアンジェラアキの「手紙」等、三曲を熱唱してくれました。

その後の懇親会では大塚町長、前原統括官等多数のご来賓の方々から心のこもった温かいご挨拶を頂き、会員及び各団体の参加者一同和やかな歓談が続きしました。

住まいのことなら
(有) 現代屋

電気工事・水道工事業

芳賀郡芳賀町給部 14-29

TEL.028-677-1676

FAX.028-677-0865

石川建設(有)一級建築士事務所

建築設計 **NAL**

〒321-3426 栃木県芳賀郡市貝町赤羽 2919 番地 9

TEL (0285) 68-1432 (代)

FAX (0285) 68-1419



タオル一本協賛運動

益子支部では、今年も地域社会貢



献活動の一環として「タオル一本協賛運動」に取り組みました。「福祉施設などで役立てていただきたい」との趣旨のもと、支部会員の事業所に呼びかけ、未使用のタオルを持ち寄っていただき、町内17カ所のタオル収集所にて平成29年1月1日～31日の約1ヶ月間にて585本ものタオルが集まりました。

集まったタオルは益子町社会福祉協議会に寄贈し、町内各福祉施設に配分していただきました。

茂木支部

日帰り研修

3月14日(火)、茂木支部では、東京方面へ日帰り研修に行ってきました。

出発時、小雨が降り心配されましたが、東京に近づくにつれ雨もやみ、ほっとしました。

最初に訪れたのは学問の神様「湯島天神」。季節柄多くの絵馬が掲げられていました。続いて向かったのは「文京シビックセンター」。展望台から東京の大パノラマを見ることができました。

そして、昼食を兼ねて「神楽坂商店街」を散策しました。情緒ある坂道には多くの店が建ち並び、大変賑わっていました。



最後に訪れたのは今回の研修のメイン「能楽の観賞」。宝生能楽堂には、開場1時間前にもかかわらず長蛇の列ができており、「能」の人氣が伺えました。日本の伝統芸能である能楽を堪能することができ、参加者みなさん「感動した」「すばらしかった」と、普段あまり触れる機会のない「能」を観賞することができ、大変喜ばれました。

バスの中では、親睦も図られ、楽しい研修となりました。

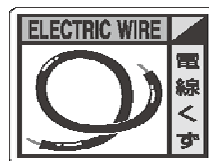
～自然素材を使った世界にたったひとつのオーダーメイド住宅～

家づくり
はじめたく
なったら。



K-LIVING
〒321-0904 栃木県宇都宮市陽東5丁目11-33
TEL: 028-688-0180/FAX: 028-688-0181
mail@kawahori.com

有限会社 川堀工務店
市貝町田野辺498



明日への資源のかけ橋
自社ナゲット工場にて加工処理
電線屑・銅屑、高価買入

小玉産業株式会社

〒321-3304

芳賀郡芳賀町祖母井56

TEL: 028-677-0262

<http://kodama-sangyo.co.jp/>



企業紹介

株式会社 タケダ商事

(株)タケダ商事は、公益社団法人日本バス協会による安全性評価認定委員会より、優良なバス会社として貸切バス事業者安全性評価認定を受けているバス会社です。



安全性評価認定とは、日本バス協会が、法令に基づいた安全な取り組みを行っている貸切バス事業者へ適用している制度で、認定を受けた事業者は、セーフティバスのシンボルマークをバスの出入り口脇に貼り付け表示しております。また、認定事業者は、国土交通省並びに日本バス協会のホームページにおいて公表され

ています。

平成28年1月15日の深夜に起きた軽井沢スキーバス事故は、乗客13名・運転手2名が死亡した過去30年で最多の死者が出る事故となりました。調べてみると、このバス会社は、法令に違反して行政処分を受けていたことが判明しました。

貸切バス事業者が、法令に基づいた安全性の確保のための取り組みを行っているか否かを判断することは難しく、この事案のように安いスキーバスの広告だけで安全性が十分かどうか判らないバスを選んでしまうことが起きてしまいます。

当社のバスにおいては、無事故・無違反で、行政処分など受けたことがなく、法令に基づいた安全性の確保のための取り組みを適切に行っている優秀な貸切バス事業者として認定を受けております。また、運転手8名は出発の際のドライバーと車の点検、定期健康診断、社内勉強会など法令に基づいて行っております。観光バス・マイクロバスを利用されるお客様、法令に基づいた安心・安全のバス会社のご利用をおすすめいたします。当社は大型バスはありませんが、中型バス・マイクロバスを所有しております。当社は、安全な運行のために会社としてできることはすべて行っています。

株式会社 大津屋呉服店

弊社は、大正10年(1921年)より芳賀町の安産・子育て・子授けで有名な延生地蔵尊の門前にて呉服店をさせて頂いております。日本の民族衣装である和服を扱う職業柄、お宮参り、七五三、入学・卒業、成人式、結婚などお客様の人生の節目で和服を着る機会に携わる事が多くあります。お客様のニーズとウォンツの変化にお応え出来るように着物の販売やレンタルだけでなく着付けやお手入れなどのアフターフォローの充実、そしてフォトスタジオを併設してヘアメイクや写真撮影などきめ細かいサービスが出来るように心掛けております。安産・子授け・子育てで有名な延生地蔵尊の門前の立地と言う事もあり、妊婦さんやお

子様のお宮参り、七五三など多くの参詣者の方々が弊社にご来店頂きます。和服を通じて人生の節目に子どもが健やかな成長を想う親心のお手伝い、日本の伝統と心の継承のお手伝いを通じてお客様に喜んで頂けるように努力する事が弊社の地域貢献であり永続的に発展持続可能なまちづくり事業と考えております。

